



2017年2月24日(金)～

2017年3月9日(木)の活動

○ 北陸の食・伝統工芸セレクションイベント in 湘南

2月25日(土)・26日(日) 鎌倉市・藤沢市

湘南・北陸地域の連携によるイベント「北陸の食・伝統工芸セレクションイベント in 湘南」を開催した。

25日は神奈川県江ノ島電鉄を貸切り、北陸トレイン「北陸うまいもの号ー北陸レンコン弁当を楽しむ電車ー」を開催し、レンコン弁当他、ますの寿し、へしこ等北陸自慢の発酵食や地酒を味わってもらい、北陸の魅力をPRした。貸切り電車は、鎌倉ー藤沢駅間の約10kmを1時間10分をかけて往復した。企画電車には、松尾鎌倉市長、鈴木藤沢市長、細田金沢市副市長、天野江ノ島電鉄社長、久和北陸経済連合会会長、高木とやま観光推進機構会長(北陸経済連合会副会長)らが乗りこんだ他、今回は地元商工会議所の方々を招待し、総勢50名が乗車した。

また、江ノ電鎌倉駅構内では北陸三県の臨時物産ブースを出展し、販売を行った他、試食、パンフレット配布などによるプロモーションを行った。

26日は江ノ電鎌倉駅の5番ホームに停車した電車の中で北陸の伝統工芸体験教室を開催し、約50名が高岡の錫アクセサリーづくり、金沢の金箔貼り、若狭の若狭塗箸体験を楽しんだ。(担当:吉井)

○ 第5回 北陸観光サロンセミナー

2月27日(月) 福井市

福井駅西口のハピリン3Fホールにて、第5回北陸観光サロンセミナーを開催した。観光に携わる約90名が参加した。

第一部では民泊、体験型観光を世界に発信している、世界最大手のAirbnb(エアビーアンドビー) Japanの田邊社長に「暮らすように旅をする」という演題で民泊について講演していただいた。次に、日本航空の乗田専務から、「JALグループ地域活性化の取り組み」と題して、JALではインバウンド誘致に繋がる地方の観光資源を、機内誌や映像で紹介していることを説明していただいた。

第二部ではICTを活用した観光ツールの最前線情報を日本ユニシス、シスコシステムズ、アプラスの3社から発表していただいた。

その後の交流会には約60名が参加し、観光に携わる北陸三県の関係者間で情報交換が行われた。次年度も年2回程度の北陸観光サロンセミナーを開催することを予定している。(担当:杉山)

○ 第24回北陸地域懇話会

2月28日(火)

福井市

第24回北陸地域懇話会をザ・グランユアーズフクイにて開催し、国土交通省からは中神北陸地方整備局長、江角北陸信越運輸局長、鈴木中部運輸局長をはじめ22名、当会からは、久和会長、川田副会長、伊東副会長をはじめ28名が出席した。

久和会長は冒頭の挨拶で、北陸新幹線の2030年頃までの一日も早い大阪までの全線整備の実現を訴え、そのためには工事財源の確保など着工条件をクリアし、敦賀開業前の事業認可・着工・用地買収着手が必要であると述べた。また、昨年3月に大臣決定された「北陸圏広域地方計画」に触れ、プロジェクトの確実な推進はもちろん、タイムリーなフォローアップと適切な情報開示が必要であると述べた。

話題提供では、当会から山崎社会基盤整備委員長が「社会インフラ整備」、加藤広域観光推進委員長が「広域観光推進」について、北経連の取り組みを紹介した。

自由懇談では、「北陸新幹線の早期全線整備」、「国土強靱化への取り組み」、「高規格幹線道路の整備促進」、「港湾整備・スマートロジスティクス推進」、「地域の足としての公共交通の充実」、「インバウンド観光受入態勢の向上」について活発に意見交換した。

(担当:本多)

お知らせ

特別講演会のご案内

北陸経済連合会では、北陸総合通信局、北陸情報通信協議会と共催で、以下のとおり特別講演会を開催いたします。

- ・日時 平成29年4月19日(水) 15:00~16:00
- ・場所 金沢東急ホテル 5階 ボウルルーム
- ・演題 「地域IoTの実装推進に向けて(仮題)」
- ・講師 総務省 政策統括官 今林 顯一 氏
- ・詳細については、別添資料をご覧ください。

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel 076-232-0472)